

公開実用 昭和 59—

67307

⑬ 日本国特許庁 (JP)  
⑭ 公開実用新案公報 (U)

⑮ 実用新案出願公開

昭59—67307

⑯ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 60 C 23/04

識別記号

庁内整理番号  
6631—3D

⑰ 公開 昭和59年(1984)5月7日

審査請求 未請求

(全 頁)

⑱ リムバンド

東京都北区十条仲原2丁目10番  
8号

⑲ 実 願 昭57—164091  
⑳ 出 願 昭57(1982)10月29日  
㉑ 考 案 者 大澤茂

㉒ 出 願 人 トビー工業株式会社  
東京都千代田区四番町5番地9  
㉓ 代 理 人 弁理士 吉村公一

BEST AVAILABLE COPY



明 細 書

1. 考案の名称

リムバンド


2. 実用新案登録請求の範囲

周方向に続くリムの深底溝内に嵌装される平板状のバンドであつて、その両端縁を以て上記したリムの深底溝内に相互に無端状に接続されるとともに、該バンドにはその長手方向にわたり、1又は2以上の器具類装着用取り付け部を設けたことを特徴とするリムバンド。

3. 考案の詳細な説明

本考案は自動車用タイヤホイールにおけるリムに装着するためのリムバンドに関する。

自動車用車輪の構造についても最近では著るしい進歩がみられ、とくにタイヤ内の空気圧を常時検出し、あるいはタイヤ自体の摩耗度を検知し、危険な状態となつた場合には警報を発することにより走行上の安全性を向上させようとする試みもとくに本発明者らの研究グループにより提案され、目下その実用化に努力しているところである。




ところがたとえば上記したタイヤ空気圧の検出器にしても、これを車輪内に組み込むことはタイヤの構造上きわめて難かしい問題をのこしている。

すなわち車輪はタイヤと、これを嵌装するためのホイールとからなるものであり、上記した検出器等の器具類をホイールに装着する必要がある。ところがホイールとくに直接的にタイヤを受け容れるリムの外周側にこれを取りつける場合においても、該リムに対するタイヤの着脱作業を阻害する結果あまり好ましくはない。

そこで本発明者はこれをリムの周方向に続く深底溝内に装着するためのリムバンドを案出したものであつて、具体的には周方向に続くリムの深底溝内に嵌装される平板状のバンドであつて、その両端縁を以て上記したリムの深底溝内に相互に無端状に接続されるとともに、該バンドにはその長手方向にわたり、1又は2以上の器具類装着用取りつけ部を設けたことを特徴とするものである。

以下において本考案の具体的な内容を図示の一実施例をもとにして説明すると、1は本考案にか



かるリムバンドを示し、好ましくは金属質板を用い、リム11の周方向に続く深底溝12の底部幅に略等しいか、あるいはそれより若干小さめの板幅とし、その長手方向の一端には角穴2を、また他端には該角穴2内に挿通折り曲げが可能な舌片3を形成し、さらに該リムバンド1の長手方向の適当な個所には器具装着用取り付け部4が形成されている。器具装着用取り付け部4は本実施例においては2個所設けたが、必ずしもこれに限定されるものではなく、1個所、あるいは3個所以上設けてもよい。

上記したリムバンド1に対し、たとえばタイヤ空気圧検出器等の器具類13をあらかじめネジ止めする等の方法により装着して用意し、これをリム11にタイヤ14を嵌め込んだ後にタイヤ14の片側のビードを他側に押し寄せ、これにより露出したリム11の深底溝12内に上記したリムバンド1を沿わせて円形に折り曲げし、一端の舌片3を他端の角穴2内に挿通させた後、その先端を折り返して相互に無端状に接続して固着する(第

3 図参照) ことによつて器具類をホイール 11 の深底溝 12 内に装着させる。

尚、この場合においては、タイヤ 14 をリム 11 から取り外す場合には、さきに上記したリムバンド 1 を深底溝 12 内から外す必要がある。

また器具類の取りつけはリムバンド 1 をリム 11 の深底溝 12 内に取りつけた後におこなうようにしてもよいことはいふまでもない。

本考案は上記した通りであるから、タイヤ空気圧力使出器の如き器具類をタイヤ内に装着するに際し、リムの深底溝内に埋設することになるのでリム自体に何らの加工を施すこともなく簡単でしかも確実に器具類を車輪内に組み込むことができる等種々の有益な効果を奏する。

#### 4. 図面の簡単な説明

図はいずれも本考案の一実施例を示すものであつて、第 1 図は本案のリムバンドを利用して器具類を車輪内に装着した状態をあらわす車輪の要部断面図、

第 2 図はリムバンドの全体を示す展開された状態

の斜視図、

第3図はリムバンドの結合状態をあらわす斜視図である。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 . . . リムバンド、 | 2 . . . 角穴、      |
| 3 . . . 舌片、    | 4 . . . 器具類装着用   |
| 取り付け部、         | 11 . . . リム、     |
| 12 . . . 深底溝部、 | 13 . . . 空気圧検出器、 |
| 14 . . . タイヤ、  |                  |

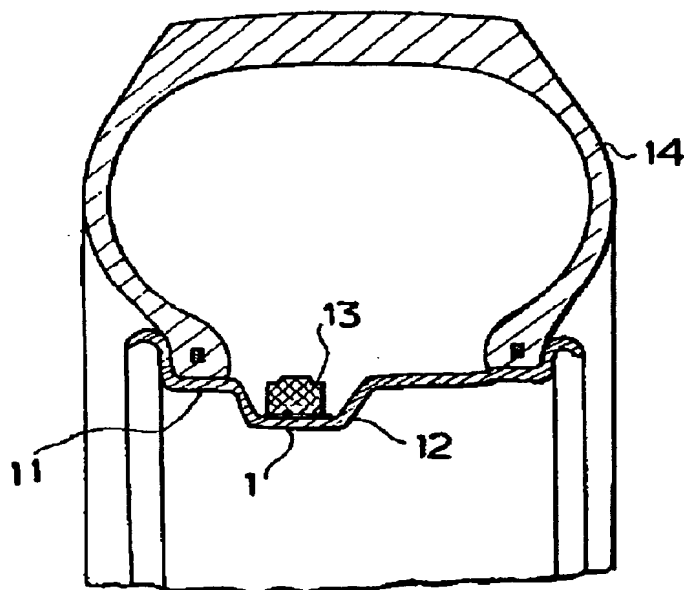
考 案 者 大 澤 茂

実用新案登録出願人 トビー工業株式会社

代 理 人 弁理士 吉 村 公 一

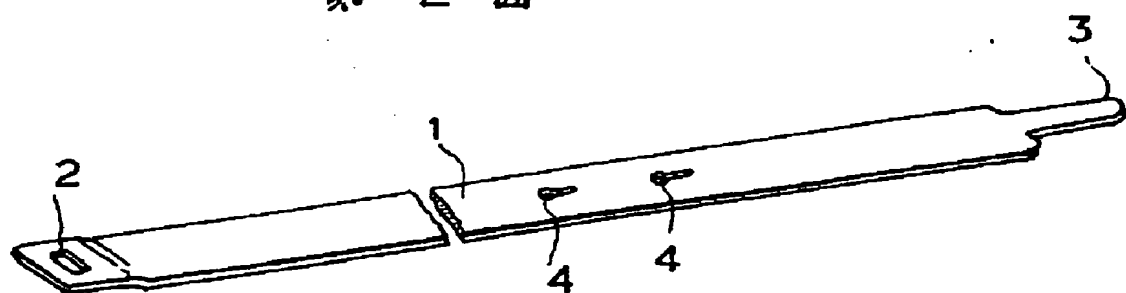


第 1 図



BEST AVAILABLE COPY

第 2 図



実用新案登録出願人 トビー工業株式会社  
代理人 弁理士 吉村 公一